

こおろぎ

発行日 2004年11月1日 **No.140**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

箸よく盤水を回す

箸でたらいの水を回すような小さな努力であっても、それを続けていくと、ついにはタライの水を回すことができるということを先月号で書きましたが、自分なりに努力しているつもりなのに、なかなか効果の上がらない人と、上手に効果を上げる人があるようですが、そうした差はどこからくるのでしょうか？

ポイント1「継続性」

箸でたらいの水を回すコツは、ゆっくりでもいいから回し続けることです。せっかく人一倍水を回しても、しばらく休んでいるとすぐに水は止まり、また最初からやり直さなくてはなりません。そうしたことを何度も繰り返したら、きっと誰でも努力がイヤになると思います。ですから、ゆっくりでも一つの努力を続けることが大切になります。

ジョギングを始めた頃の私は、自分の力の限界に挑戦することが自分を鍛えることだと思っていました。しかし、それはただの自己満足でしかなく、毎日限界に挑戦していたら、大抵の人は苦しくなって、走ることを嫌いになってしまいます。それが続かなくなる一番の理由だったのです。

無理のないペースから始めても、続けていけば必ず力がついてきます。ペースを上げるのはそれからが良いのです。呼吸をするようにその行動が出来るようになればしめたものです。

しかし、そうなるには時間がかかります。その間には「これで良いのか？」という迷いが湧くものです。しかし、あれをやったりこれをやったりしていたら、絶対に水が回りませんし、人から一貫性のない人と思われて、信用まで下がってしまいます。

一つのことを続けていると、期待する効果は上がらなくても「な人」というイメージが固定して、信用が高まるようです。

ポイント2「一貫性」

私が最も尊敬する鍵山秀三郎さんは、お掃除を毎日続けてこられたことから、「お掃除の神様」とさえ言われ、全国にたくさんのファンがいます。しかし、鍵山さんは、お掃除だけでこれだけの評価を得たのでしょうか？ 私はそうは思いません。私が知る限り鍵山さんは、お掃除はもちろん、人への接し方、人への心配りなど、その全てにおいて人間性（誠実さ）が一貫しているから「掃除好きな人」ではなく、「誠実な人」と評価されているのだと思います。

私もずいぶんハガキを書くほうですが、もし私がお客様にだけハガキを書いていたなら、「人を大切にする人」ではなく、「商売熱心な人」と言われると思います。たとえ、お客様以外の方にハガキを書いたとしても、その他の行いが、いい加減だったら、「ハガキ・マニアの人」と呼ばれると思います。

自分の好きな人や、立派な人を大切にすることは、誰にでも出来ることです。そうでない人への接し方にこそ、その人の人間性が現れていると私には感じられてなりません。

ポイント3「人との違い」

皆が笑うジョークで笑っていても、誰も「笑い上戸」とは言いませんが、他の人が笑わないときに一人だけ笑っていると「笑い上戸」と言われます。これと同様に、体育の授業中に走っても「走ることが好きな人」とは思われませんが、皆が走らないときに一人で走っていると「走ることが好きな人」と思われます。つまり、皆と同じ行動をしていても、その人を「な人」とは思わないのです。

つまり、人がやらないときの行動こそ、その人の人柄と思われるのです。さて、あなたは努力の仕方を意識しているのでしょうか？

私の「幸せ」

私はこれまで、殺人犯から大企業の経営者まで、いろいろな人と接してきました。その誰もが幸せになることを望んでいましたが、幸せになれる人となれない人がいるようです。

こうした差は、どこからくるのでしょうか？

そもそも、「幸せ」とはどんなものなのでしょうか？

私もこれまで「幸せ」という言葉を何度も使ってきましたが、その意味については明確にしてきませんでした。今回は、私の言う「幸せ」とは何か、どうしたら「幸せ」が手に入るかについて、今の考えをまとめておきたいと思います。

幸せになれるかどうかの違いであり、幸せになるための方法は、

- 1、 幸せになるための努力や工夫を積み上げること
- 2、 今ある幸せを、認めること

の2つだと思っています。

若い頃の私は、苦しいことや、面倒なことがなくなることを「幸せ」と思っていました。今はたくさんお金を得ても、辛いこと、苦しいことから解放されないし、もし解放されたとしてもそれを「幸せ」とは思いません。

先日、イチローが262本の世界新記録を達成しましたが、きっと彼ほど野球で苦しみ、努力して、野球を楽しんでいる人はいないでしょう。

最近では昔の私のように面倒なことや、努力することを嫌う人が増え、享乐的なことや、楽なことばかりを求める人が増えている気がしますが、それでは本当の「幸せ」は手に入らないと思うのです。

CL(建設的な生き方)には、「努力すなわち幸福」という言葉がありますが、これは努力して成功したら幸せになるというのではなく、今のなすべきことを淡々としていく中に「幸せ」があるというものです。

結果が良ければ成功(幸せ)と考えている人も多いかと思いますが、失敗や不幸と思う出来事の中にも幸せの種があり、そうした努力を積み上げていくと、成功・失敗、好き・嫌いを越えた「幸せ」があるように思うのです。

お便りコーナー

おハガキありがとうございます。
いただいた言葉「自分の魅力」を開花させていきます！
今日、嬉しいことがありました。社会人になって初めて受注をいただいたお客様から、別のお仕事(名刺の作成)をいただき、本日が納品の日でした。持つていくと、名刺の出来に満足してくれ、「一番の名刺をあげるよ」と名刺を差し出してくれたのです。本当に嬉しかったです。

今日はCL勉強会、ありがとうございます。
家に着いたら実家の母から、ちらし寿司が届いていました。早速、お礼のハガキを書きました。実はこれまで書くこと書かないながら母へ気持ちを書いたことがありませんでした。なぜか書きながら涙がポロポロ出ました。素直にありがとうございます、ごめんなさいが書けました。ずっとケンカばかりで、愛されていると思うことなく、育ってきてしまいました。本当は私だって、お母さんのことが大好きなものです。杉井さんには心から感謝します。いつも教えてくれてありがとうございます。